

# 国土地形基盤整備

(概算要求額 311百万円)

## 【背景・目的】

基盤地図情報だけでは植生、崖、岩、構造物等の地貌や土地の状況を表す地形情報を知ることができない

地貌や土地の状況は、国及び地方公共団体が国土開発を実施していくに当たって必要不可欠な情報

地理空間情報活用推進基本計画では、行政分野での地図等地理空間情報の整備に際しては、基盤地図情報を活用し、他の地理空間情報と位置の整合がとれたものとして整備するよう努めるとしている

基盤地図情報を位置の基準として、これと整合するよう植生、崖、岩、構造物等の地貌や土地の状況を表す地形情報を統合した新たな基本図データとして国土地形基盤を構築、整備

## 【施策の概要】

従来の地図データに替わる新たなデジタルの基本図データとして、国土管理や災害対応に不可欠な植生、構造物等の地形情報を、位置の基準である基盤地図情報に整合するように整備する

## 【効果】

地貌及び土地の状況等、国土の状況を全国的に明確な基準で把握することができる

国及び地方公共団体が領土保全、国土開発、防災における被害予測等国土管理を適切に実施するための必要不可欠な資料となる

国民にデジタル時代の基本図データとして最新かつ信頼性のあるデータを安定して提供

## 国土地形基盤の構築イメージ



基盤地図情報

↓ 統合させて統合 ↓

非基盤地図情報の項目

(構造物、建物記号、名称、植生等)



↓ 提供 ↓

(紙地図、デジタルデータ)